

幅広い舞台芸術作品の多様な演出に 高輝度映像と柔軟な設置性で貢献。



岡山芸術創造劇場 ハレノワ様

導入時期：2023年2月
導入地域：中国地方

課題

・幅広い舞台芸術作品の公演に対応し、新しい舞台演出を可能にする映像設備を導入したい

解決策

・3チップDLP®方式レーザープロジェクターで高輝度映像を投写
・幅広い設置条件に合わせた豊富なレンズを用意

“

映像の明るさはもちろん色合いの設定も多く、設置条件にも柔軟に対応でき、表現の幅が広がると感じています。”

公益財団法人 岡山文化芸術創造
岡山芸術創造劇場
技術グループ 舞台音響主査
内海 常葉 様

背景

3つの劇場を備える新しい文化芸術施設

2023年9月1日に岡山市文化芸術の中心施設としてグランドオープンを迎えた岡山芸術創造劇場ハレノワ様。1753席を有する大劇場をはじめ、中劇場・小劇場と3つの劇場を備え、中四国で屈指の規模を誇ります。「魅せる」「集う」「つくる」というコンセプトに沿って、演劇・伝統芸能・オペラ・ミュージカル・バレエなどの幅広い舞台芸術作品の公演に対応し、より大掛かりで新しい舞台演出を可能にする設備の充実を図られる中、各劇場の映像装置としてパナソニックの3チップDLP®方式レーザープロジェクターを採用いただきました。

導入した理由

圧倒的な輝度と信頼性が導入の決め手に

岡山芸術創造劇場 技術グループ 舞台音響主査 内海様は採用の理由として、「全国の劇場技術者向けの研修会に参加した際、さまざまな幕設備（スクリーン）とプロジェクターの投映効果の検証が行われる中、PT-RQ35KJのデモンストレーションを拝見しました。30000 lm以上の圧倒的な明るさで、一緒に参加していた劇場長と、大劇場にはこの明るさが必要だと意見が一致しました。また、以前よりパナソニック製のレーザープロジェクターを使用していた経験から、その信頼性や使いやすさも把握していましたし、さまざまな設置方法を検討していく中で、中劇場に採用したPT-RQ25KJ、小劇場に採用したPT-RZ12KJとレンズを共用できる点も導入のポイントになりました。」と、振り返られました。

新たな文化芸術の創造につなげる発信拠点

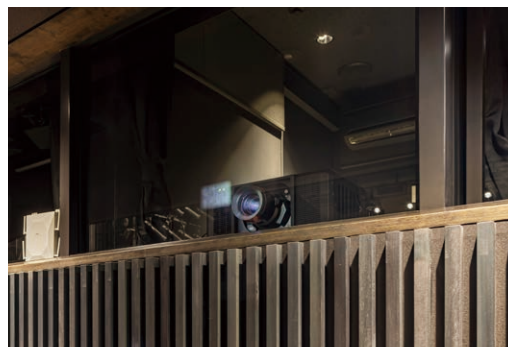
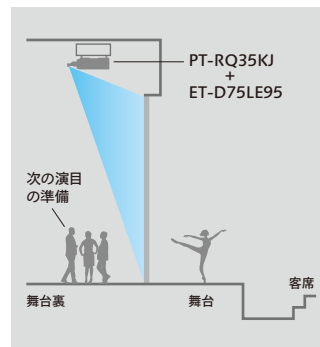
「魅せる」「集う」「つくる」をコンセプトに、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会の提供や、アーティストと市民が出会う体験型ワークショップなどでの交流、演劇・ダンスの作品創りなどを行う、新しい文化芸術施設として岡山市の中心地に2023年の9月1日にグランドオープン。

- 所在地 岡山県岡山市北区表町3-11-50
- URL <https://okayama-pat.jp>



▲ 地下2階、地上7階建てで、大劇場(1753席)をはじめ3つの劇場を備える

プロジェクター／放送・業務用映像システム



▲ 大劇場の2階客席後方に位置する映写室に設置されたPT-RQ35KJ。30500 lmの高輝度映像で多様な舞台演出をサポート。公演内容によっては映写室から持ち出し、舞台上や天吊りでの設置も実施される。

▲ プレオープン記念公演では天吊り設置され、舞台裏から Horizont 幕に映像を投写。舞台上でダンスパフォーマンスが行われる中、舞台裏では次の演目の準備が進められた。

▲ 中劇場では20000 lmの高輝度ながら軽量・コンパクトなPT-RQ25KJを採用。



▲ 807席の中劇場では演劇、コンサート、セミナーなど多様な演目が催される。



▲ 最大300席を設置できる小劇場では12000 lmの明るさを有するPT-RZ12KJを採用。



▲ 4Fアートサロン用に導入されたPT-FRQ60JW。



▲ 舞台進行の確認用途として、大劇場・中劇場に4K解像度のリモートカメラも導入された。



導入後の効果

映像設定や設置性の柔軟さで演出の幅が広がる

こけら落とし公演では大劇場でオペラが上演されるなど、多彩な舞台作品やコンサート、セミナーなど、さまざまな利用が想定されるため、プロジェクターにもそれに応じた柔軟さが求められます。「映像の明るさはもちろん色合いの設定も多く、表現の幅が広がると感じています。また、公演ごとに投写方法も映写室からだけでなく、舞台上や天吊りなど、演出プランに沿った設置の提案をしていきます。そのため、レンズの豊富さも採用の大きな条件でした。2023年6月に行われたプレオープン記念公演では、超短焦点レンズET-D75LE95を装着したPT-RQ35KJを電動トラスで吊り上げ、舞台の Horizont 幕の裏側から映像を投写しました。ステージでは大画面映像とコラボレーションした前衛的なダンスが披露される中、幕の裏では映像に干渉しない位置で次の演目の転換準備をするなど、これまでになかった演出や舞台転換が可能になりました」(内海様)。

レーザー光源ならではの使いやすさも魅力

「以前は交換用のランプを多数常備していましたが、レーザー光源では交換の心配はありません。また、公演によっては利用者様に安全に運用いただくため、冷却時間がなく電源を落とせるなど使い勝手の良さも安心です。操作の際のユーザーインターフェイスもわかりやすく設定も手間がかかりません」(内海様)。

今後の展望

新たな文化芸術の創造につなげていきたい

「これからも優れた舞台芸術作品を上演するのに相応しい設備の充実を図り、利用者様の演出プランやご要望を実現する提案をしていきたいですね。また、市民のみなさまがいつでも気軽に集い交流できる場を提供しながら、さまざまな創作活動を支援し、新たな文化芸術の創造につなげていきたいです。そういった「つくる」活動を実践し、岡山芸術創造劇場が自ら舞台芸術を創り出し全国、世界中での上演を目指したいと思っています。」(内海様)。



公益財団法人
岡山文化芸術創造
岡山芸術創造劇場
技術グループ 舞台音響主査
内海 常葉 様

※所属は納入時のものです。

納入機器



3チップDLP®方式
レーザープロジェクター
PT-RQ35KJ ×1台



3チップDLP®方式
レーザープロジェクター
PT-RQ25KJ ×1台



3チップDLP®方式
レーザープロジェクター
PT-RZ12KJ ×1台



1チップDLP®方式
レーザープロジェクター
PT-FRQ60JW ×1台



3チップDLP®方式プロジェクター用
超短焦点レンズ
ET-D75LE95 ×2台



3チップDLP®方式プロジェクター用
ズームレンズ
ET-D75LE10 ×1台
ET-D75LE20 ×1台
ET-D75LE30 ×2台



4Kインテグレートドカメラ
AW-UE80K ×2台



4Kインテグレートドカメラ
AW-UE50K ×5台



リモートカメラコントロール
AW-RP60GJ ×4台

